

## 1 1 美濃加茂市立山手小学校

学 校 名	美濃加茂市立山手小学校 (校長 御子柴 純)
活動の種類・単位	防災に必要な知識を学び、いつでも命を守る行動がとれるように取り組んだ。
教育課程上の位置付け	特別活動 (学校行事) その他 (全校放送)

### 1 活動テーマ

「自らの生命を守るために必要な事柄を知り、主体的に判断し安全な行動ができる児童の育成」と設定し、研究を進めた。その具体的な手立てとして、「リアルタイムな指導」「予告なしシェイクアウト訓練」「より実践的な命を守る訓練」を柱として取り組んだ。

### 2 主な活動内容

校区には、急峻な地形がなく土砂災害の可能性は高くない。昭和58年9月、地域の一部が洪水被害を受けた以外に被災体験がない。そのため、地域、保護者に災害への備えの意識が高いとは言えない。こういった状況を受け、子どもたちにいつでも、どこでも生き抜く力を身に付けさせるために、本校では平成26年4月から防災教育の取組を開始しており、今年で5年目となった。5年目の今年、自分事で考え、命を守る行動へとつなげるために以下の3つのことを意識して実践を行った。

#### (1) リアルタイムな指導

6月の大阪北部地震が起こった翌日には、全校放送にて、緊急地震速報が流れた時の様子を価値づけたり、登校中の女子児童がプールの壁の下敷きとなって亡くなった事実を伝えたりした。7月に、大雨により校区の一部が断水となり休校となった。その翌日には、断水により不便な生活をした人がいることを話し、水を大切に使うことを全校放送にて伝えた。

○大阪北部地震の際 6月18日(月)の昼の放送(防災主任より)

今日の朝の会の前に、緊急地震速報が流れました。多くの子どもがまず低く、頭を守って動かずに静かにシェイクアウトをしている様子が見られました。(中略)今回は震度6弱という強い揺れが大阪で起きました。(中略)いつでもどこで災害に巻き込まれるかわかりません。常に私たちは備える必要があります。自分の命は自分で守れるようにしましょう。

#### (2) 予告なしシェイクアウト訓練

朝活動の時間に予告なしで、緊急地震速報を流し、セーフティーゾーンを探し安全を確保してから、シェイクアウトを行った。緊急地震速報が流れてからの児童の動きは素早く、命を守る行動をいつでもどこでもとれるようになった。また、今年度は気象庁主催の訓練にも参加し、防災無線からどのような音量で聞こえてくるのかを知ることができた。

#### (3) より実践的な命を守る訓練

地震想定で避難する際に、児童や職員には知らせず、逃げ遅れの児童を設定し、職員で捜索する訓練も含めて行った。どのクラスの誰がどこに逃げ遅れているか職員には知らされておらず、緊張感をもち、捜索に臨むことができた。1学期の反省を踏まえ、ペアが一緒に行動することや、捜索班も児童の発見後に自身の点呼をすることができた。



▲ 避難訓練の様子

子供たちに付いた力	自分の身近で起きた出来事について、見たり聞いたりした経験が、普段の生活の中でも生きており、より真剣にかつ慎重に命を守る行動を取ることができるようになった。
効 果	野生の感が磨かれてきたことにより、教師の指示を受けなくても適切な行動が取れるようになってきた。
今後の方向	火災消火訓練や地震体験車などのより実践的な訓練を位置付けることで、より災害の恐ろしさに触れ、危機意識をさらに持たせていきたい。